

2013年5月28日

報道関係各位

公益社団法人 日本脳卒中協会  
サノフィ株式会社

## 脳卒中克服の推進活動への貢献を称える 平成25年度 日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞者決定

公益社団法人 日本脳卒中協会(所在地:大阪市阿倍野区、理事長:山口武典、以下「日本脳卒中協会」と、サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジェズ・モールドイング、以下「サノフィ」)は、本年5月25日(土)に大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)で開催された同協会総会において、平成25年度 日本脳卒中協会「サノフィ賞」の受賞者の発表と表彰式を行いました。

日本脳卒中協会「サノフィ賞」は、脳卒中患者・家族に対する教育・訓練・社会参加への支援活動を促進するための活動に貢献した個人あるいは団体を選定し、顕彰することを目的に平成22年(2010年)に創設されました。選考委員会による厳正なる選考の結果、平成25年度受賞者は、以下の通りとなりました。

部門	受賞団体	受賞理由
啓発部門:	佐久小諸脳卒中連携の会 (長野県佐久市)	脳卒中予防、医療環境の調整や治療成績向上のための地域医療連携パスによる“顔の見える医療”をめざし、医師会2団体を中心に、病院や診療所の医師・コメディカルが平成19年に設立した団体。 会の活動として、脳卒中に関する講演、健康相談、血圧測定、健康体操、脂質測定、オリジナルの寸劇などを盛り込んだ市民講座を開催し、地域ぐるみの取り組みを推進されている。
社会参加 支援部門:	特定非営利活動法人 熊本すずらん会 (熊本県熊本市)	脳卒中者同士の交流による情報交換と励ましによって、再発を防止、障害による困難な生活を克服し、自立と社会参加を促すことを目的に昭和60年に発足した団体。 市民講座などの学習会、家族介護者の会、俳句などの各種教室などを通じて、市民への呼びかけ、患者さんやその家族の方々の学習と交流を図っている。さらに、リハビリ旅行、在宅訪問・相談活動など地域で生活するための支援、会報の発行、作業所の開設など、幅広い活動を展開されている。

日本脳卒中協会は、これまでに脳卒中撲滅のため、脳卒中予防に関する正しい知識の普及や最適な治療を受けられるための情報提供、患者さんやご家族の脳卒中に関する理解向上と QOL 改善のため、幅広く活動を行ってきました。また、サノフィは2008年より、「No 梗塞、No リターン」と題する脳梗塞予防のキャンペーン

を後援しています。

日本脳卒中協会ならびにサノフィは、日本脳卒中協会「サノフィ賞」を通じて脳卒中克服へ向けた取り組みを顕彰することで、再発を防いで社会復帰を促進することを願い、今後もさらに脳卒中撲滅に貢献するため共に努力を続けてまいります。

別紙: 日本脳卒中協会「サノフィ賞」概要

以上

### 公益社団法人 日本脳卒中協会について

脳卒中に関する正しい知識の普及及び社会啓発による予防の推進ならびに脳卒中患者の自立と社会参加の促進を図り、国民の保健、福祉の向上に寄与することを目的とし、平成 9 年 3 月に任意団体として設立され、平成 17 年 3 月に社団法人として認可後、平成 24 年 10 月 1 日に公益社団法人に移行しました。平成 25 年 5 月現在、46 都道府県に 48 の支部があり、脳卒中を発症した患者さんやご家族を始め、医療従事者、行政・福祉関係者、一般の方々への情報提供や調査研究活動などを行っています。日本脳卒中協会に関する詳細は、ホームページ(<http://jsa-web.org>)をご参照ください。

### サノフィについて

サノフィ・グループは、フランス・パリに本社を置きグローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーです。世界 100 カ国に 11 万人以上の社員を擁するサノフィは、糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、新生ジェンザイムの 7 つを成長基盤として、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、パリ (EURONEXT: SAN) およびニューヨーク (NYSE: SNY) に上場しています。

日本においては、約 3,000 人の社員が、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」をビジョンに、医薬品の開発・製造・販売を行っています。詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。

【別紙】

日本脳卒中協会「サノフィ賞」概要

- <目 的> 脳卒中患者・家族に対する啓発活動、および社会参加への支援活動に貢献した個人、もしくは団体を顕彰する
- <主 催> 公益社団法人 日本脳卒中協会
- <後 援> サノフィ株式会社
- <創 設> 2010年(平成22年)
- <対象者> 日本脳卒中協会会員が推薦する個人もしくは団体
- <選 考> 1. 受賞選考委員会は、1)啓発部門、および2)社会参加支援部門の受賞候補者を審査し、選考後に選考結果を理事会へ提出  
2. 理事会は上記の選考を受け、受賞者を決定
- <表 彰> 毎年1回表彰し、受賞者には賞状と盾、副賞として賞金(総額25万円)を贈呈
- <表彰式> 2013年5月25日(土)開催の日本脳卒中協会総会・脳卒中市民シンポジウムにおいて表彰



< 5月27日 日本脳卒中協会「サノフィ賞」表彰式にて >  
左から、日本脳卒中協会理事長 山口 武典  
佐久小諸脳卒中連携の会 佐久総合病院地域医療連携室 日向 美佐江氏  
熊本すずらん会 理事 坂本 幹雄氏  
サノフィ株式会社 人事・総務本部 本部長 北川 健二